

晩秋と初冬のいりまじる奥会津の山里【2】



tateiwa00.htm

2002.11.16.

by M. Nakanishi

晩秋と初冬の奥会津の山里を訪ねる旅

交通の便が悪く今年も行けなかった福島県帝釈山脈 田代山の頂上の湿原。

約40年前の夏 初めて仲間と夏合宿をやった湯西川温泉から田代山を越え、桧枝岐から尾瀬へ  
その田代山山麓の山間にひっそり残る水引と木賊の集落。茅葺の会津曲家の家が美しい集落だった  
イメージの中では素晴らしい曲家の集落は今も残っているのだろうか・・・

また、水引から峠越えて、大きな古い庄屋の前の河原で沈殿して、川筋の露天風呂に何度もはいった  
木賊の温泉。時間があれば茅葺の家並みがあるまま残る下郷大内宿にも・・・

もう一度昔の記憶をたどるとイメージにある日本の原風景。

一度家内に見せたかった奥会津山間の集落の景色。晩秋と初冬の混じる奥会津を車で家内と二人訪ねました。



奥会津 野岩鉄道会津高原駅付近 2002.11.16

11.16. 真っ赤に紅葉した塩原温泉 紅葉の  
渓谷をくぐり抜けて 奥会津上三依にでると  
景色が一変 山はもう雪の冬景色。

浅草・鬼怒川を抜けて奥会津に入ってきた東  
武電車(野岩鉄道)沿い山間の街道を雪景色  
と紅葉の交差する会津高原へ。

見慣れた三角屋  
根の会津高原駅  
と道の傍らにあ  
る温泉「夢の

湯」の横を通り抜け、道は会津田島から若松へとつづいているが、道を左  
に折れて、尾瀬への福島県側の玄関口桧枝岐への道を取るとまもなく高杖  
スキー場のある舘岩村。



館岩村には今も曲家集落が残る。集落の林はまだ紅葉が残っているが、山はもう冬。あたりはもう一面雪の銀世界。

何処を見ても雪野原。 広い雪原と雪化粧の山 そしてその麓に広がる紅葉した林 このコントラストが実に美しい。



会津高原から館岩村・桧枝岐村への街道で 2002.11.16.

### 館岩村 水引集落



奥会津 館岩村 水引郷 2002.11.17.

奥会津 曲家集落 館岩村 水引郷の周辺で 2002.11.16

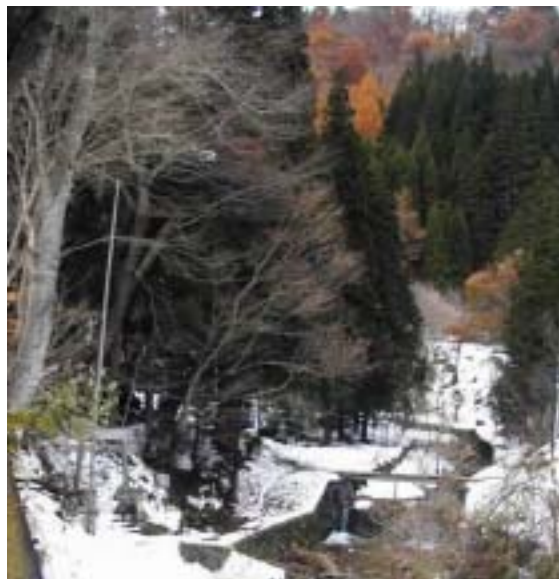
もう全く昔の記憶はないが、木賊への峠道の標識や「未除雪のため 水引集落で通行止め 田代山登山口 通行不能」の標識等に昔を重ねる。

湯の花温泉を抜け 10 分ほどで田代山の山麓 一番奥の集落「水引」に着く。

集落入口にある小さな谷川の橋を渡ると雪の中に、軒を連ねた茅葺の間家が幾つも見える。

水引集落の入口

地図で「水引集落」「木賊温泉」そして間家集落の保存地区「前沢集落」を見つけたが、まず目的の水引集落へ。 国道から湯の花温泉を抜け、田代山の麓 一番山奥の水引集落への道をとる。両側に除雪で積まれた雪がだんだん多くなる。



人影のない街道を両側の家を見ながらをきょろきょろ。 曲家集落の保存地区指定を受け保存されている地区でないのに、普通の民家が随分増えたが、家並みのあちこちに生活臭のある普段着の曲家が見られる。でも、生活しながらの保存の難しさが家の手入れなどに見える。



水引郷の曲家



水引郷 田代山峠道へ続く街道脇の墓場

奥会津の代表的民家 曲屋 が残る 館岩村 水引郷 の集落 2002.11.16.



街道に兜作りの正面を堂々とかまえる曲家

家並の中ほどに立派な兜作りの屋根を持った大きな曲家がある。街道に向け 堂々とした兜作りの大屋根の玄関が有り、その後ろでL字に建物になっている。正面の兜作りの大屋根の下にはめ込まれた格子戸が美しい。おそらく厳冬期には この2階部分の格子戸が入口になるのだろう。



水引郷の代表的「曲屋」民家

また、集落の田代山へと続く街道の道端に雪に埋まった墓場が見える。ここでも、桧枝岐の集落で見たメイン街道に接した家並の中に墓場が置かれている。

この集落にも奥会津の街中の墓が残っている。

茅葺の大きな曲家集落の中の道端の墓場

集落の人たちが祖先を大事にし、祖先とともに暮らす姿が垣間見える。

そんな伝統の中で曲家が作られたのだろう。そう 考えると曲家の必然性が見えてくる。



街道脇 雪の中に似ひっそりと埋まる墓場

祖先を敬う心がこの集落の中心にある墓ではないか・・・・・  
古くは縄文人が心のよりどころとして集落の中心に作った墓 弥生の時代になると集落の外へと押し出された墓。現代の世界では忘れられてきたその伝統が今もこの奥会津に受け継がれているのか・・・・・。

三内丸山やストーンサークルに代表される東北の縄文の温かさが曲家集落に伝わってくる。曲家と街道沿いの墓とは切っても切れぬ関係ではないか・・・・・そんな風を感じました。

日本人伝統のやさしさが残る集落 そんな親しみをこの水引郷の集落に持ちました。フイに壮年の人が家からこの街道にでてこられたので話しかけ、来意の目的話する。よそ者の夫婦が家をきよろきよろ見回しているの、不信に思われたらう。

「寒いし 家には行って お茶でも一杯どうぞ・・・・」

「いい写真 撮って帰ってください・・・・」と。

古い記憶の中にあつた曲家集落水引郷に本当に日本の原風景 縄文の暖かさを感じた一瞬でした。水引郷そのものが残っているかどうか わからぬままに出かけましたが、田代山最奥の地に美しい曲家の残る集落が今も息づいていました。

### 曲家集落保存地区 館岩村

水引から山の尾根裾を越えて 田代山の反対側の山麓 木賊へ出る道があり、かつて通った道なのですが、雪に埋まっていました。再度湯の花温泉を通ってもとの街道筋に出て 反対側の木賊温泉へまわる。



途中に曲家の保存集落地区「前沢」があり、曲家の家並がしっかり保存されている。

前沢では今も人が生活しながら 伝統の曲家保存集落として周りの山々の自然の景色に溶け込んで曲家が軒を連ねる美しい景観を示していました。



前沢曲家集落 館岩村



前沢曲家集落保存地区前沢の家並

2002.11.16.

晩秋・初冬の雪景色バックにスックと建っている奥会津の曲家 凛々しくもあり、美しい建物期待通りでした。

奥会津に残る美しい曲家集落 館岩村 水引郷 と前沢郷 これからも ずっと残してほしい景観。街道筋の道端に残る墓と一体となって ますます親しみを感じました。木賊温泉は雪の中ということもあって全く記憶なし。昔入った川原の露天風呂は今も健在。でもまったく雪の中。 直ぐ隣りに新しく建てられた河原の湯で木賊温泉独り占め。

### 江戸時代にタイムスリップ 下郷 下野街道 大内宿の家並

夕方 下郷の溪谷「塔のへつり」を見て、下郷 下野街道 大内宿 へ着いたのは もう夕闇の中。もう観光客も帰り、静かな家並みの上に月が出て、これも印象的な風景。



月明かりの中の下野街道 下郷 大内宿 2002.11.16.

大内の宿を後にした時はもう 真っ暗。

泊まるもよし 帰るもよしで出かけた奥会津でしたが、 結局 会津若松から郡山から常磐へ 海岸沿いを水戸に出て 柏に帰りました。

一度 ゆっくり歩いてみたかった奥会津 山裾の村々 館岩村の曲家集落 そして 塔のへつり温泉にも ゆっくり入って・・・。

家内にも一度見せたかった奥会津 紅葉と冬景色の混じった素晴らしい景色でした。

雪の中に立つ茅葺の大屋根を持つ曲家集落とその集落の道端にある墓場

奥会津でしか見られなくなった日本の原風景 静かな時の流れに 気持ちもリフレッシュ

行程約 700km 家内と二人

奥会津の景色や温泉を思い出しつつ

深夜真っ暗闇の常磐路を走りながら

2002.11.16. 夜 by M. Nakanishi